

会議概要

会議名称	第1回 人権尊重の明るい伊那市づくり審議会
日 時	平成26年6月23日(月) 9:30~11:05
場 所	501会議室
欠 席 者	なし
会議事項・概要	
1 開 会	篠田総務部長進行
2 委嘱書交付	白鳥市長
3 あいさつ	白鳥市長
4 自己紹介	委員～事務局、幹事
5 正副会長の選出	会長に西春近公民館長の野溝弘文さん、副会長に女性団体連絡協議会代表の丸山紀子さん就任あいさつ
6 協議事項	野溝会長進行
(1) 平成26年度人権関係事業計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料により各課の平成26年度計画を各課幹事が一括説明 <p>〔幹事説明概要〕</p>
①企画情報課	<ul style="list-style-type: none"> ・人権同和政策事業実施計画 ・男女共同参画計画推進事業計画 ・人権擁護委員事業計画 ・多文化共生事業計画
②市民課	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人相談窓口開設事業計画
③社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・社会を明るくする運動推進計画 ・障害者福祉事業計画 ・結婚推進事業計画
④子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市幼児人権同和教育実施計画
⑤健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者・HIV感染者対策・虐待予防事業計画
⑥高齢者福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の人権擁護事業実施計画
⑦商工振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市企業人権教育推進連絡協議会事業計画
⑧学校教育課	

・学校教育における人権同和教育の推進計画

⑨生涯学習課

・社会人権同和教育推進計画

質 疑

委員・・・高齢者福祉課の関係で認知症予防の研修会等がある。認知症まではいかないが疑いがあるときなどの市の相談窓口はどこなのか。

幹事・・・地域包括支援センター(市高齢者福祉課内)が窓口になっている。2か月に1回地域包括支援センター便りを発行してPRしている。名前がわかりにくいのが難点となっている。

委員・・・民生委員会でも包括支援センターについて毎月勉強をしていて、包括センター便りで情報を得ている。なかなか自分からは認知症でないかと申し出でくることはない。本人がデイサービスへ行かないと言ったら無理。人の中へ参加するのが嫌だという人や、本人が病院に行きたくないと言っている人は家族が大変かと思う。

幹事・・・初期対応が大切なので、今後、認知症初期集中支援チームの組織をつくり病院受診の際認知症の疑いがある人の情報をこのセンターへ通知してもらい、直接対応していくなど連携をとっていく。

委員・・・福祉の団体は障害やひとり親福祉会など5団体あり、「生涯福祉計画」策定時には役員が各団体の意見を出し合った。また、親の会同志は情報交換している。

委員・・・認知症に関しても、助けてほしいと申し出るところがあれば自ら出て行って助けてほしいと言えるようになっていかなければいけないのでは。

集落が14戸あったが9戸に減少し、跡取りの男の子が結婚していない状況である。

委員・・・社会福祉課の結婚推進事業の、少子化、未婚者、既婚者はどのように把握しているのか。

幹事・・・平成22年国勢調査の未婚者の情報を基にしている。

情報統計係で作成する人口ピラミッドで少子化の情報を得ている。

委員・・・昨日埼玉、富山、秋田県の若い女性が住みついてもらう良い事例が紹介されていた。伊那市は具体的に今後の対策があつたら教えてほしい。

委員・・・人口増加推進室の取組は。

幹事・・・平成25年10月に策定した「伊那市移住・定住促進プログラム」がホームページに掲載してあるのでご確認いただきたい。

社会増を毎年120人増やす。又自然増合計特殊出生率1.62%を10~20年先には2%に増やす目標である。

具体的には住民満足度を上げるためのキットハウス住宅プロジェクトなどいくつかのプロジェクトがある。

また、4月~地域づくり協力隊3人が地域貢献のために活動を開始した。

委員・・・せっかく生まれた子供たちがすくすく育つようにしなければならないが、P11保育園の「育児相談日」を定期的に開催しているとのことだが、そういうことを知らなかつ

た。どういう人が相談にのっているのか。

幹事・・・保育園の園長や相談室の臨床心理士など療育スタッフの巡回で行っている。

委員・・・知らなかつたのでもっとPRをしてほしい。

委員・・・学校に中国籍の子どもがいる。通訳はどうしたらよいか。

幹事・・・社会福祉課で中国残留邦人と支援相談員の職員がいるので、連絡をいただければ対応できると思う。

委員・・・子育てに悩む親や認知症に悩む家族など、本当に困っている人に話を聞いてもらいたいのだけれど、外に出てきてくれない。そういう人をどうしたらよいかがいつも課題となっている。大きい場所ではなく、個人単位で話をする中で聞き取っていくことが大切だと思う。

委員・・・地区での災害時対応では災害弱者を優先していく。区としては隣組を通じて調査をお願いしているが、他に市で取り組んでいる例があれば教えてほしい。

幹事・・・障害者の情報は、本人の承諾がないとお知らせすることはできないことが歯がゆいところである。民生委員の皆さんには災害時住民支えあいマップをお願いしている。
市全体に関しては危機管理課で対応している。

委員・・・高遠地区を見回すと40代独身者が多く高齢化が進んでいく現実がある。認知症に関しては、本人に認知症という認識がない・・人権問題に関わってくる。

市の取り組みを知ってもらうことが必要。

下条村が活性化しているように、子育て世代が増えるような環境にしていく必要がある。子育て世代と高齢者がつながり、新しい住民との関係を良くしていくことが必要である。

委員・・・長谷はもっと深刻である。区としてどうしたらよいか出口が見えないのが現実である。

委員・・・公民館で高齢者が学習したいが足がない。バスがない。良い方法がないか。

書道教室の子どもたちがゲームをやっている。最近はラインで死ね、殺せなど次々書き込まれている。先生たちがわかっていないように思える。指導していかないと大変なことになると心配する。先生たちのインターネットの教育はどうしているのか。

幹事・・・情報委員会や夏休み中に開催している。

委員・・・東春近小では6年は親子で学ぶセーフティーネットなどで勉強している。

※平成26年度の事業計画は承認された。

7 その他

委員・・・この会の持ち方、委員が任期2年とあるが所属が変わった時はどうするのか。

事務局・・・事業計画の審議6月と2月に実績についての審議をしていただく。年2回の会議を開催する。

所属でなくなった場合は、残任期間を新たに選出してもらう。

事務局・・・本日いただいたご意見は可能な範囲で施策に反映させていく。

8 閉会 丸山副会長